# IPTalk 設定・接続マップ（ver1.0）

接続できる電話機I/Fはアナログ二線式です。

## お読み下さい

この説明書は、IPTalkをアナログ二線式電話機
一台に接続する場合の設定方法をまとめたものです。

① PBX等に繋いでダイヤルイン構成を使用する。
② ネット電話帳を登録して代表組み、話中転送を行う。
③ 同一ルータ傘下に複数台接続する。
等の設定については、アイピートーク社までメールにて御連絡ください。

## ご注意

IPTalkのご使用に関しては、契約申込から設定完了まで以下のステップが必要です。必ず事前にご確認下さい。

**契約申込**
お客様がアイピートーク・インターネット電話サービス契約約款をご了承の上、オンライン申し込みして頂くか、所定のサービス契約申込書に記入の上、アイピートーク社宛送付。

**設定完了通知**
送付書類を確認の上、アイピートーク社にて開通作業を実施、お客様宛設定完了通知を送付。

尚、ネット電話帳登録等の場合は、別途事前登録・設定が必要となりますので、ネット電話帳番号登録用紙(ダウンロードはこちら)にご記入の上メール又は郵送で弊社まで送付ください。

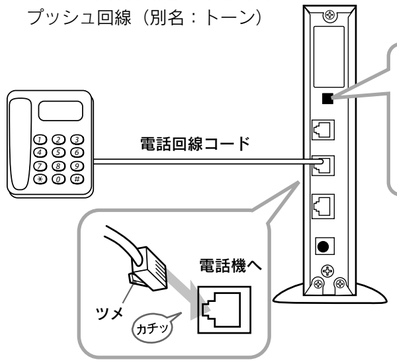
＊ 3.と5.は、一般電話回線を利用する場合に設定してください。

# Step1 電話機・一般電話回線の接続 重要

## 1. 電話機を接続

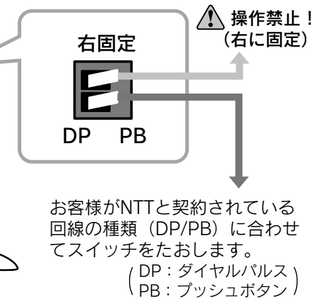
❶ 電話機を接続します。

❷ 電話機の電話回線の種類はプッシュ回線固定にします。(注：1)
プッシュ回線（別名：トーン）



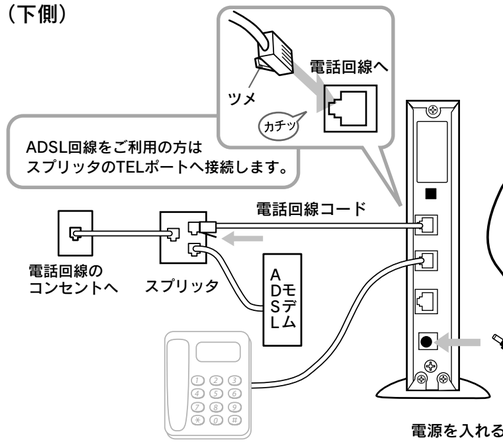

## 2. 電話回線の設定

❶ IPTalkの背面・白色スイッチ（下側）を設定します。



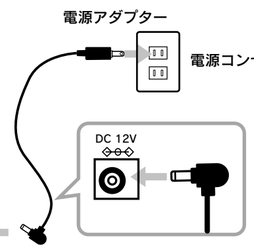

お客様がNTTと契約されている回線の種類（DP/PB）に合わせてスイッチをたおします。
（DP：ダイヤルパルス
PB：プッシュボタン）

## 3. 電話回線へ接続 ＊




## 4. 電源を入れる

他の機器の電源アダプタと間違って接続されますと、IPTalkが破損します。必ず、附属の電源アダプタをご使用下さい。




**電源を入れると**
IPTalk前面のTELランプが点灯します。

## 5. 接続の確認 ＊

117などへ電話をかけて一般電話回線に正しく接続されているか確認します。

この場合はTELランプがオレンジに点灯します。

**LED表示**

まだこの時点では、インターネットに接続していないので NET側ランプは消灯しています。

### あれっ？

**(注：1) 電話機の電話回線の種類**

自動設定（ダイヤルパルス又はプッシュボタンを自動判別する設定）や、DP、10pps、20ppsではダメです。
自動設定にしていますと設定当初は利用できても後に利用出来なくなる場合がありますのでご注意下さい。

**たとえば…**

裏面や側面にスイッチがある場合やダイヤル操作でモードの切り替えをする電話機もあります。

**？ 電話機を上げてもツー音がしない**
**？ 電話機からダイヤルしても電話がかからない**
→ 確認！1. 2. 機器の配線接続が正しくなされているか再確認下さい。

**？ 発信すると、やや間をおいて、ピポパという音やジリジリというダイヤル音が聞こえ相手にかかる。**
→ 正常です。
IPTalkは、インターネットで発信しない場合、一般電話として発信します。この際、一般電話での発信（通常料金）であることを音で知らせるためにこのような発信音を出すようになっています。

### IPTalk同士の無料通話

LED表示の点灯の仕方

NETランプ
**オレンジ点滅**
TELランプ
**緑 点灯**

＊ 1.3.4. は、一般電話回線を利用する場合に設定してください。＊ 2. 海外で利用するお客様の場合は不要です。

# Step2 一般電話回線の設定 重要

## 1. NTT ナンバーディスプレイ／Lモード契約がある場合 ＊

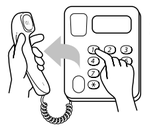
受話器を上げる → ＃＃１１ ＃３４＊１ ＃１９ → 受話器をもどす

ナンバーディスプレイ／Lモードどちらか一方でも契約されている方は左の設定操作をしてください。
また、ISDN用のTA（ターミナルアダプタ）のナンバー表示機能を利用している場合も同様に設定してください。

## 2. 市外局番の設定 ＊

市外局番の設定を誤ると、市内への通話が正しくなされません。

受話器を上げる → ＃＃１１ ＃３９＊【市外局番】＃１９ → 受話器をもどす



（例）市外局番０３の場合　＃＃１１＃３９＊０３＃１９

## 3. 一般電話回線の電話番号入力 ＊

電話番号の設定を誤ると他のIPTalkからお客様ご利用のIPTalkへの対向無料インターネット通話が利用できません。

受話器を上げる → ＃＃１１ ＃１６＊【電話番号】＃１９ → 受話器をもどす

（例）ご自宅の電話番号が０３－３２０６－００１１の場合
＃＃１１＃１６＊０３３２０６００１１＃１９

## 4. IPTalkキャッチホンの設定 ＊

受話器を上げる → NTTキャッチホン契約無の方 ＃＃１１ ＃４３＊ １ ＃１９ → 受話器をもどす

NTTキャッチホン契約有の方 ＃＃１１ ＃４３＊ ２ ＃１９

IPTalkキャッチホンを使用される方は、左の２つの設定操作のどちらかを行って下さい。IPTalkキャッチホンを利用されない方は話中音が相手に流れます。

### あれっ？

**？ 電話がかかって来ない場合（かかってきてもすぐ切れてしまう）**
Step2 1. *ナンバーディスプレイ／Lモードの設定を再度ご確認下さい。*

**？ 他の設定済みのIPTalkとの間で、対向無料インターネット通話ができない。**
Step2 2.3. *電話番号の設定、市外局番の設定を再度ご確認下さい。*

設定を誤ると相手のIPTalkがあなたのIPTalkを学習出来ません。
一般電話回線の利用をされない場合は、IPTalkの学習機能は働きませんので別途ネット電話帳サービス(有料)をご利用ください。

一般電話回線との接続が出来たら、次はインターネット回線につなぎましょう！

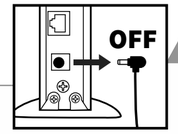
裏面へつづく

⚠ 注意：接続される時は、IPTalkの電源をOFFにした状態で作業して下さい。

# Step3 インターネット回線との接続

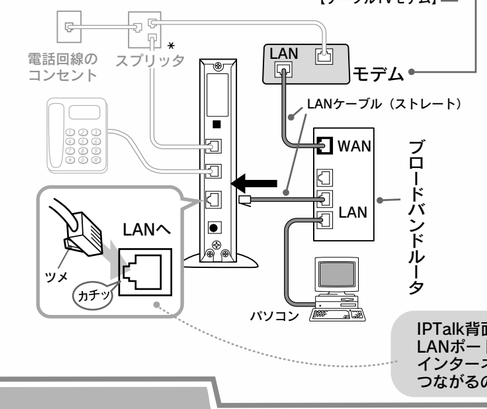
ルータ機能の有無はインターネットサービスのサポートセンターにご確認下さい。

## 1. IPTalkの電源OFF



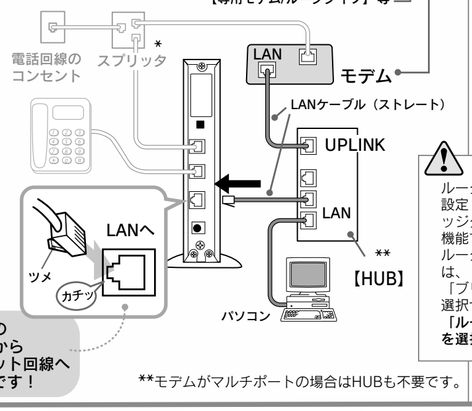

## 2. IPTalkとインターネット回線、モデムとの接続

### モデムにルータ機能の無い場合
（ブリッジタイプモデムご利用の場合）




＊スプリッタはADSLタイプ1の場合に使用します。

### モデムにルータ機能のある場合
（ルータタイプモデムご利用の場合）




IPTalk背面のLANポートからインターネット回線へつながるのです！

**モデムがマルチポートの場合はHUBも不要です。

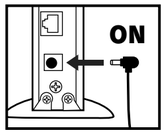
## 3. インターネット回線確認

どこかホームページにアクセスし、インターネット回線が正常であることを確認します。

もし、どこのホームページにもアクセス出来ない場合は、インターネットサービスプロバイダー或いは、ルーターメーカーのサポートセンターにお問合せ下さい。

ルータ機能付モデムでも、設定・選択により、「ブリッジタイプモデム」として機能する機種もあります。ルータ機能を利用する場合は、「ブリッジとして使用」を選択せず、**「ルータとして使用する」を選択**してください。

## 4. IPTalkの電源ON

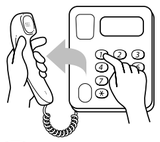



# Step4 インターネット回線関連の設定

ルータをレンタルされるお客様は設定不要です。

## 1. 接続されているルータのIPアドレスを設定します。 ルータのIPアドレスが192.168.0.1の場合は不要

受話器を上げる　　受話器をもどす



＃＃１１＃１４＊１９２＊１６８＊０＊１＃１９

（例）ルータのIPアドレスが　192.168.0.1 の場合

＃＃１１＃１４＊１９２＊１６８＊０＊１＃１９

## 2. IPTalkにIPアドレスを設定します。 ルータのIPアドレスが192.168.0.1の場合は不要

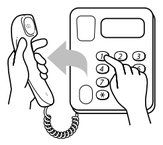
受話器を上げる　　受話器をもどす

＃＃１１＃１２＊１９２＊１６８＊０＊５＃１９

（例）ルータのIPアドレスが　192.168.0.1
IPTalkのIPアドレスを　192.168.0.5 に設定する場合

## 3. サブネットマスクが 255.255.255.0 以外の場合に設定します。

受話器を上げる　　受話器をもどす



＃＃１１＃１３＊□＊□＊□＊□＃１９

サブネットマスクアドレスが255.255.255.0以外の場合は、上記の手順で、
指定されたアドレスを設定して下さい。
ほとんどの場合は255.255.255.0ですので、その場合、この設定は不要です。

（例）ルータのIPアドレスが　192.168.0.1 の場合

IPTalkのIPアドレス　＃＃１１＃１２＊１９２＊１６８＊０＊☒＃１９

（例）ルータのIPアドレスが　192.168.1.1 の場合

IPTalkのIPアドレス　＃＃１１＃１２＊１９２＊１６８＊１＊☒＃１９

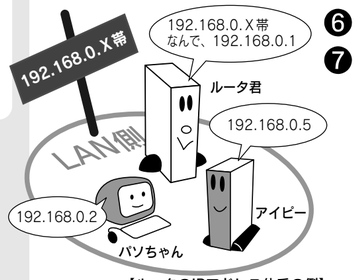
（例）ルータのIPアドレスが　192.168.11.1 の場合

IPTalkのIPアドレス　＃＃１１＃１２＊１９２＊１６８＊１１＊☒＃１９

☒はPC等、他のネットワーク機器と重複しないように決めます。またルータによるHDCPアドレス付与範囲も避けて付与することが望ましいです。

IPTalkが接続されているルータのLAN側 IPアドレスを設定します。ルータのLAN側IPアドレスは、ルーターの設定の際、WWWブラウザのアドレス欄に入力するアドレスです。

IPTalkに設定するアドレスは…
① で設定したルータのIPアドレス体系に従って決めることが必要です。




【ルータのIPアドレス体系の例】

© IP Talk CORPORATION ALL RIGHT RESERVED 2003.

# Step5 ルータの設定

ルータの設定は、パソコンから行います。
ルータをレンタルされるお客様は設定不要です

IPTalkを接続するブロードバンドルータ或いはルーターモデムには**静的IPマスカレードの設定**が必要になります。静的IPマスカレードの機能はメーカーによって名称が異なりますので、お使いのルータの説明書を参考になさって下さい。
アイピートーク社ホームページにて、ルータ設定のポイント等の解説を掲載しておりますのでご参照下さい。

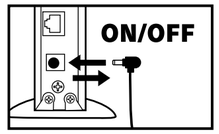
ルータ設定のポイント　http://www.iptalk.net/otasuke/

【静的IPマスカレード】「WAN（インターネット）側から到達したUDPプロトコルパケットに対し、ポート番号＊が指定されていた場合には、ルータにつなげたIPTalk端末に付与されたLAN側固定IPアドレスに必ず届ける」

（参考）IPTalkの静的IPマスカレード設定
ルータのIPアドレスが192.168.0.1の場合

| アドレス | ＊ ポート |
|---|---|
| 192.168.0.180 … | 18001,18002,18003 |
| 192.168.0.181 … | 18011,18012,18013 |
| 192.168.0.182 … | 18021,18022,18023 |
| 192.168.0.183 … | 18031,18032,18033 |
| 192.168.0.184 … | 18041,18042,18043 |
| 192.168.0.185 … | 18051,18052,18053 |
| 192.168.0.186 … | 18061,18062,18063 |
| 192.168.0.187 … | 18071,18072,18073 |
| 192.168.0.188 … | 18081,18082,18083 |
| 192.168.0.189 … | 18091,18092,18093 |

**設定後** IPTalkアダプタの再起動




電源を抜き差しして再起動します。

**確認** LEDランプ
NETランプが緑点灯

インターネット電話が通話可能になりました！

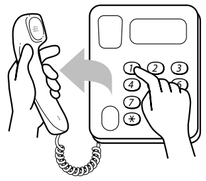
ランプがしない…

確認 Step3 Step4 Step5

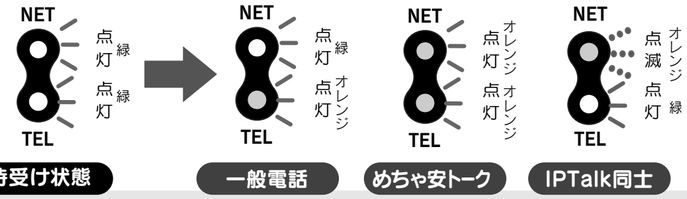
# Step6 かけてみよう！

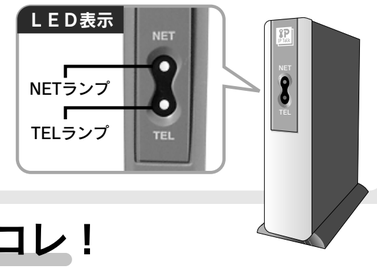
電話のかけ方は「見分け方マニュアル（別表）」を参照下さい。

電話のかけ方は今までと同じ。



IPTalk前面の LEDランプの点灯の仕方で電話のつながり方をチェック！




## ルータ設定で見落としやすい点はコレ！

1. 基本的な落とし穴で見つけにくいのがケーブルの断線、ソケット／プラグの破損／半抜け等ですので十分ご留意下さい。（Step1/Step3）
2. ルータ設定操作そのものの落とし穴：設定が有効になっていますか？（Step5）
   --- 静的IPマスカレードやDMZの個々の設定毎に有効/無効のチェックボタンがある場合があります。無効になっていないでしょうか？又は、有効のチェックが抜けていないでしょうか？
   --- 【登録】【設定】【保存】【再起動】等のボタンの押し忘れはありませんか？
   これらを忘れるとせっかく行った設定が反映しません。
3. 静的 IPマスカレード、あるいはDMZ機能をルータに設定する場合のLAN側 IPアドレスは IPTalkのIPアドレスです。（Step4 の ②）
4. パソコン等他のネットワーク機器のアドレスと重複していませんか？（Step4 の ②）
   重複していますと、パソコン側に重複しているアドレスのメッセージが出ます。
5. ルータに「常時接続」を選択するか否かの設定画面がある場合は、必ず「常時接続する」を選択して下さい。（Step5）
   また、連続接続時間/自動切断時間の指定がある場合は、「無制限」を選択して下さい。
6. NAT機能のタイマー設定がある場合は、無制限（それが無ければ、最長時間）に設定して下さい。（Step5）
7. IPパケットフィルタに様々な設定がなされている場合、その影響で片方向の音声が聞こえない症状が出ることがあります。（Step5）
   （多くの場合、自分の声は相手に聞こえるが、相手の声が自分に聞こえない。）
   このような場合、フィルター設定で必須でないものを削除すると解決することがあります。

**静的ＩＰマスカレード機能**

多くのブロードバンドルータは静的ＩＰマスカレード機能を実装していますが各メーカによって名称が異なります。ルータの取扱説明書で、確認してください。

- ＩＰマスカレード機能（例：YAMAHA）
- スタティックＩＰマスカレード（例：富士通）
- ネットワークゲームの設定（例：BUFFALO）
- （ポート）フォワーディング機能（例：ELECOM, クリエイティブメディア、リンクシス）
- ポートフォワーディング（例：IODATA）
- ポートマッピング（例：ＮＥＣ）
- ローカルサーバ（例：ブラネックス）
- 仮想（バーチャル）サーバ（例：コレガ、Elecom）
- ＮＡＴアドレス変換（例：住友電工）
- 新規アプリケーション登録（Special Applications）（例：オムロン）